

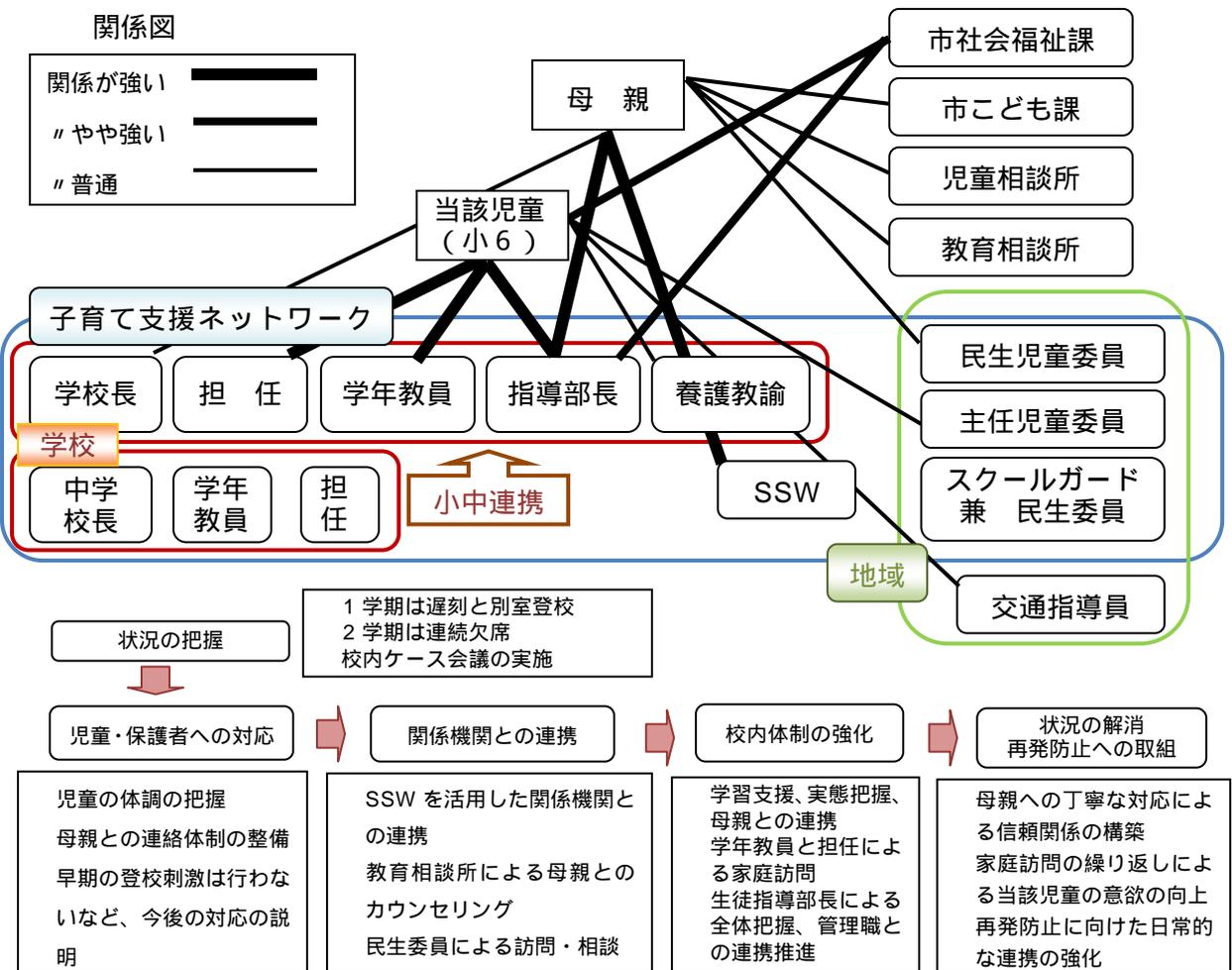
不登校児童生徒への対応事例4（小学校第6学年男子）

～ 関係機関との連携と校内体制の強化～

問題の把握

当該児童は、6年生になってから、朝、体調不良を訴えるようになるなど遅刻が多くなり、教室へ入ることが困難になった。運動会・修学旅行に参加することはできたが、その後は別室登校が続ки、2学期に入り、不登校の状態となった。

対応状況



不登校の問題を速やかに解消するためのポイント

- ・ S S W や関係機関との連携を早期に構築するとともに、校内支援体制を確立すること。
- ・ 学年体制で家庭訪問を行い、児童の状況を見極めながら適切な段階で登校刺激を与えること。
- ・ 校内ケース会議、子育て支援ネットワーク会議の開催など連携組織を効果的に活用すること。